

みんなで守ろう! 伝えよう! 吉野川河口干潟

四国三郎、吉野川。河口から14.5kmにわたる汽水域とそこにひろがる河口干潟や様々な干潟は、わが国で最大規模を誇る国際的に重要な湿地です。吉野川河口の多様な価値についてもう一度確認し、私たちの暮らしと生物多様性を支える吉野川の豊かさを見つめなおしてみましょう。そして、吉野川の豊かな自然を未来に引き継ぎ、多様な生命が共に健全に暮らしていくための方法をみんなで考えましょう。吉野川河口干潟で観察できるシオマネキは、健全な川である指標生物と云われています。シオマネキや様々な干潟の生物が元気に生息できる環境を守るために干潟の清掃活動を行い、その後干潟の生物のことをよく知る和田太一さんといっしょに『早春の干潟観察』をします。午後は、和田さんから吉野川干潟の重要性と干潟の生き物観察の楽しみ方についてお話をききます。

日時: **3月5日** (日)

9:30~11:00 ▶ 干潟の清掃活動

11:00~12:00 ▶ 早春の干潟観察会 (講師:和田太一氏)

「吉野川河口ひがたウォッチングの楽しみ方」

清掃と観察する場所: 吉野川河口住吉干潟

《参加無料》どなたでもご参加できます。小学生以上は保護者同伴のこと

●集合: 吉野川河口南岸グランド東詰 (干潟のそばに駐車場はあります)

●持ち物: 長靴、又はよごれてもよい靴・軍手または手袋 (ゴミ拾い用)

各自多めの飲み物 (スポーツドリンクなど)・マスク

●雨天の場合、清掃活動は 3月11日 (土) 13:30~16:00に延期します。

13:30~16:00 ▶ 干潟のお話し会

会場: とくしま県民活動プラザ研修室 (定員40名)

徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリナターミナル TEL088-664-8211

〈プログラム〉

●吉野川河口干潟における最近の保全活動の紹介

●動画上映 (河口のドローンおよび干潟の生物、清掃活動など)

●講演: 「吉野川河口干潟の重要性および
吉野川で楽しむ! 干潟の生き物ウォッチング」

講師: 和田太一氏 (NPO法人南港ウェットランドグループ 理事)

●和田さんへ質問コーナーと意見交換会

干潟の清掃活動&観察会&お話し会は、それぞれ別々に参加できます。

★午後の部は当日参加もOKですが、コロナ禍で人数を把握するために事前申し込みをお願いします。お申込みの際は、お名前・電話番号をメール・FAX・電話のいずれかでご連絡ください。

主催: とくしま自然観察の会 <https://shiomaneke.net>

申込み・問い合わせ/E-mail: kansatsunokai@gmail.com Tel・Fax 088-623-6783

■本イベントはとくしま環境県民会議「環境首都とくしま」づくり推進事業補助金の助成をうけて実施しています。

本イベントの開催にあたり、新型コロナウイルス等感染の予防、拡散防止に細心の注意を払います。

和田太一(わだ たいち)プロフィール

NPO法人南港ウェットランドグループ理事。中学生の頃から、野鳥観察を始め、淀川や南港野鳥園で干潟のシギ・チドリ類の観察に没頭する。それらの餌となる底生生物にも興味を持ち、全国140ヶ所以上の干潟の調査を行ってきた。吉野川には2000年に訪れて以来、定期的に河口域の調査を行っている。

【参考】徳島県博物館研究報告 第23号 2013 和田太一
徳島県吉野川の干潟で記録された底生生物相と河口域の生物多様性の保全
<https://museum.bunmoritokushima.jp/kiyo.html>

